

平成31年度（2019年）4月号



学校だより

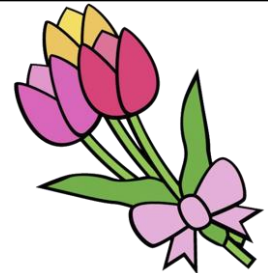
東京都立町田の丘学園校長

<http://www.machida-sh.metro.tokyo.jp/>

平成31年4月8日発行

新年度を迎えて

校長 茂木 裕之



新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。進級された皆さん、進級おめでとうございます。そして、保護者の皆様、おめでとうございます。

平成31年度がスタートしました。5月からは新しい元号の、「令和」が始まる年となりました。本校舎と山崎校舎の二つの校舎での教育活動が開始されて5年目となります。そして、今年度からは、改築工事のうちの新校舎の立上げが始まります。校舎は二つに分かれています。町田の丘学園としては一校です。そこで、「チーム町丘」を合言葉に教職員が一丸となり、児童・生徒の教育の充実を進めます。

今年度の管理職異動は、土田充副校長は御勇退され、中山啓（なかやま あきら）副校長を七生特別支援学校からお迎えしました。中山副校長はB部門高等部を担当し、川上尊志副校長がA部門を担当します。井上学副校長は、引き続き山崎校舎B部門小・中学部を担当します。経営企画室は、田中泰史経営企画課長です。本年度もどうぞよろしくお願ひします。

教職員は、新規採用教員15名と転入者が23名で、教員系167名（管理職含む）、学校介護職員18名、経営企画室13名の合計で198名となります。

また、現在の在籍児童・生徒数は、肢体不自由教育部門小学部17名、中学部14名、高等部20名の計51名、知的障害教育部門小学部114名、中学部68名、高等部157名の計339名、全校の児童・生徒数は390名となります。

今年度の学校の方針として、次の三つの観点を掲げています。

- 1 児童・生徒が、「豊かな社会生活を送れる知識や姿勢を身に付けること」を目標とする。
- 2 気づきや発見がある授業で学びを深め、自信をもって社会へ巣立つ児童・生徒を育む。
- 3 本校の学区域の特性を生かし、町田市及び近隣地域での生活の充実を目指し、「地域（町田市）に根差した教育活動」の展開を推進する。

児童・生徒が卒業後、地域の中で生き生きと、力強く生活できることを願い、心と身体、学ぶ姿勢、そして自己肯定感や豊かなコミュニケーション等を観点としてまとめました。教育活動全体で、このような観点から教育を進めていきます。御理解と御協力をお願いします。

本年度は以下の点を取組の重点目標として、進めていきます。

- 1 工事環境下ですが、安全・安心な学校の実現に向けた取組を引き続き推進します。

学校は安全で安心な場所でなければなりません。このことが、子供が生き生きと学習する基礎的な環境となります。教職員の人権感覚の向上や事故防止のための対策を更に講じ、けがやいじめ、体罰のない学校を目指します。

工事が進んでいる中ですが、既に取り組んでいる避難訓練、宿泊防災訓練、不審者対応訓練等の一層の充実を図るとともに、昨年度に引き続き次の事業を進めます。

 - (1) 教員の救急救命処置能力・初期対応能力の向上のために、救急救命講習会を行います。
 - (2) マチコミメール、学校配備の携帯電話に加え、業務用無線機の活用を進めます。また、アマチュア無線の資格所持者の協力を探り、連絡や情報収集手段の複線化を図ります。
 - (3) 工事業者とともに避難訓練を実施するなど、実際の災害に即した避難訓練を行い、日常の物品選定に際しても、災害時にも活用できる物品の選定を意識し災害に備えます。
- 2 児童・生徒のやりがいや、励みにつながる学習環境の整備に務めます。
 - (1) 様々な授業で作った作品や製品を学校だけでなく広く地域等に発信することで、児童・生徒の学習意欲が高まる取組を更に推進します。ホームページを活用し、「まちおかギャラリー」として図工・美術の作品を紹介していきます。また、山崎校舎では近隣老人介護施設での作品展示等を、昨年度から本格的に開始しました。地域に向けた情報発信に取り組んでいますが、近隣施設から戻ってきた作品を本校舎でも展示するなど、更に児童・生徒の励みとなるよう校内展示の工夫を進めます。
 - (2) 作業学習で作った製品の販売を校外へ広げるなど学習成果の発信方法を工夫し、児童・生徒が興味・関心を広げ、励みになるような学習環境作りをします。
- 3 つながりや意味付けが見えるよう、合理的な教育課程に見直します。
 - (1) 学校で学んだことを学校外で活用し、その結果を基に次の取組に反映できるような、つながりのある行事計画を意識し、見直しを行っていきます。
 - (2) 新しい学習指導要領の実施を意識した教育課程の設定をすることで、段階的に移行できるようにし、現在の教育内容を尊重しつつ見直しを行っていきます。

伝統ある取組が様々ありますが、「見直しをもった指導」と「情報発信」は、とても大切です。つながりや合理性、新学習指導要領といった観点で見直しを図ることで、より充実した教育の実現を目指します。

今年度は2020東京オリンピック・パラリンピックの前年でもあり、変化の年となります。PTAの役員会や実行委員会、学校評価アンケートなどを活用し、広く保護者の皆様からの御意見を求めていきたいと考えています。御協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。